

## WTOサービス・3月クラスター会合（3月19日～23日）の概要

平成24年3月30日

外務省サービス貿易室

1. 各種定例会合においては、技術的な内容に関して幅広い議論が行われた。とくに、豪は国際携帯ローミングに関するシンポジウムを開催し、各国の官民関係者が出席して活発に意見交換が行われた。
2. サービス貿易のさらなる自由化に関し、どのような方策を取り得るかサービス推進派グループを中心に議論が行われた。中国等新興国はこのような有志国の取組に懸念を表明。

### 1. 概要

- (1) 3月19日から23日まで、ジュネーブにおいてWTOサービス・クラスター会合（注1）が開催された。昨年12月に開催されたWTO第8回閣僚会議後のはじめてのクラスター会合であり、同閣僚会議を踏まえ、サービス貿易の更なる自由化をどのように進めていくか、各国首都からの多くの参加を得て活発な議論が行われた。サービス推進派グループでは、自国の経験を踏まえ、サービス貿易一般協定（GATS）のどのような要素を追加し得るかについて意見交換を行った。中国、インド、ブラジル等新興国は、こうした有志国の取組に対してWTOにおけるマルチの取組を損なうのではないかと懸念を表明した。
- (2) 定例会合については、サービス貿易理事会定例会合及び4つの下部会合（以下イ～オ）の全てが開催された。各定例会合において議論された内容の概要は以下のとおり。

#### ア サービス貿易理事会

国境を越える電子商取引を用いた中小企業の展開に関するスイスの事例紹介、国際携帯ローミング、電子商取引の作業計画について議論を行うとともに、サービス貿易の更なる自由化に向けた推進派（RGF）の取組に関する報告があった。

#### イ 金融サービス委員会

金融サービス貿易の最近の進展，技術的議論（分類問題），金融サービス貿易と開発（ワークショップの開催検討）などについて議論された。

#### ウ 特定約束委員会

分類作業の今後の方向性及びエネルギーサービスの分類について議論されるとともに，経済需要テスト（E N T）を中心にスケジューリング問題についても議論された。

#### エ 国内規制作業部会

GATSにおける透明性（特に「一般に適用される措置」の規定），免許・資格の審査手続などについて技術的な議論が行われた。

#### オ GATS ルール作業部会

セーフガード措置，政府調達，補助金について議論された。また，我が国ジュネーブ代表部の北郷参事官が議長に満場一致で選出された。

(3) 海運サービスにつき，我が国は推進派の会合（フレンズ会合）を開催。フレンズメンバーのF T A・E P Aにおいて，海運サービスがどう扱われているか整理することとなった。

(4) 豪州が国際携帯ローミングに関するシンポジウムを主催し，利用者団体、業界関係者，各国・地域規制当局者及び国際機関から，本分野における現状報告が行われた（別添参照）

(5) 米主催にてI C Tに関するフレンズ会合が開催された。

## 2. 次回会合

6月25日の週に実施の予定。

注1：W T Oサービス交渉は，関連する各種会合を一時期（1～2週間）にまとめて実施しており，これら一連の会合を「サービス・クラスター会合」と称している。

注2：サービス交渉の最新情報や詳細については，以下の外務省ホームページをご参照ください。<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/wto/service/index.html>